

# ○Web サイトにオプトアウトする書式

「 胆嚢ジスキネジア症例に対する肝胆道シンチグラフィのミルク負荷の有用性 」

## ○研究の概要

肝胆道シンチグラフィは放射性医薬品である  $^{99m}\text{Tc}$ -PMT 注射液が肝臓に取り込まれ、消化管に排泄される過程を経時的に確認することで、胆汁排泄遅延の有無を視覚的に捉えることができる検査です。また、胆道運動機能異常症の一つである胆嚢運動機能異常症（胆嚢ジスキネジア）は、画像検査による診断は難しく、文献上の報告も少ない現状です。

本研究では、胆嚢ジスキネジアの診断で肝胆道シンチグラフィのミルク負荷が有用であるかの検証をおこないます。

## ○研究の目的と方法

対象：2024 年 4 月～2025 年 3 月に当院で肝胆道シンチグラフィ検査をおこなった患者様。

方法：肝胆道シンチグラフィのミルク負荷が胆嚢ジスキネジアの診断に有用であるかの検証をおこなう。

## ○本研究の参加について

本研究により、患者様に新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な画像データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使用しないで欲しいと希望される方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

## ○調査する内容

本研究は、2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日に国立病院機構熊本医療センターにて、肝胆道シンチグラフィ検査をおこなった患者様を対象としております。新たに試料や情報を取得することなく、既存の CT、MRI、核医学検査の画像および取得済み血液データ結果を用いて実施する研究です。

## ○実施期間

研究対象期間：倫理委員会承認後～令和 7 年 3 月 31 日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 8 年 3 月 31 日まで

## ○研究成果の発表

調査した患者様のデータは、学会や論文で発表いたします。また、個々の患者様のデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

## ○研究代表者

国立病院機構 熊本医療センター 放射線科 診療放射線技師 木原 聡

## ○当院における研究責任者

国立病院機構 熊本医療センター 放射線科 診療放射線技師 木原 聡

## ○問い合わせ先

国立病院機構 熊本医療センター 放射線科 診療放射線技師 木原 聡

電話番号：096-353-6501（代表）